

市長定例記者会見

日 時：4月20日(水) 午前11時～11時30分

場 所：本庁舎特別会議室

出席者：一宮市 中野市長、福井副市長

報道機関 中日新聞、朝日新聞、読売新聞、共同通信

本日の案件は5つです。

1番目は『スタートアッププログラム2021』受賞者を支援します！～男性職員の育児休業の取得を進めます～です。昨年、一宮商工会議所で開催されたビジネスプランコンテストの受賞プランの中から、社会的課題を解決したいという企業を市として支援します。株式会社じょさんしGLOBAL Inc.様（刈谷市）で、妊娠・出産・育児に関するいろいろな不安を相談できるサービスを提供しています。6月に開催される「第16回職員向けシンポジウム イチカレ」で、代表取締役の杉浦加菜子さんを講師にお招きし「男性の育児取得促進に向けて」というテーマで講演をしていただく予定です。一宮市では、男性職員の育児休業取得がようやく対象者の半分まで増えてきましたが、取得期間が短いなどの課題もあります。また、このサービスは海外派遣中のご世帯にも有効だと考えられます。国内でも三世代同居の減少により祖父母世代への相談が難しくなっていますので、このサービスが順調に発展してくれればと期待しています。

2番目は「あいち2022一宮会場を盛り上げる企画を募集します！」です。一宮市が会場の一つとなっており、芸術文化を盛り上げたいという団体の皆さんを応援します。助成内容は、対象事業費の3分の2、上限30万円で予算は210万円です。申請書の提出期限は6月24日までで、申し込み多数の場合は、あいち2022一宮会場実行委員会で審査し採択事業を決める予定です。地元作家さんの展示会はもちろん、美術・芸術品だけに限らず、音楽・舞台公演・ワークショップ・トークショーなど幅広くやってもらえたらと思っています。プロのアーティストだけでなく、市民の皆さんの盛り上がりにも期待して進めていきたいと考えています。

3番目は「ウルフドッグス名古屋の選手が市役所で実習します！」です。ウルフドッグス名古屋の選手は、シーズンオフはチームの親会社の豊田合成株式会社で実習を行っています。今回、近裕崇選手に市役所でインターンシップのような形で実習をしていただけることになりました。スポーツ課へ配属予定で、トップアスリートということもあり、いろいろな業務にアスリート目線でご意見やアドバイス、ご提案をいただきたいと思います。今後、一宮七夕まつりや各種スポーツ大会もありますので、バレーボールに限らずスポーツを通じてこの地域が元気で健康になるような企画に携わっていただければと期待しています。市役所での実習は、チームとして初めての取り組みだということです。

4番目は「ワクチン接種特設会場（3回目接種）で『予約なし接種』を実施します」です。昨年度も接種体制を強化してまいりましたので現在は順調ですが、もう少し接種率を上げ

たいとの思いもあり、一宮市として初めて「予約なし接種」を行うことにしました。4月24日から実施し、使用ワクチンはモデルナ社製です。市内の接種率に関しては、65歳以上の3回目接種済みが約88%で、50歳代でようやく50%を超えた状況です。40歳代が約37%、30歳代が約28%、20歳代が約26%と若年層の3回目接種が遅れている状況です。最近の市内の感染状況は、10歳未満・10歳代・20歳代の感染者が半分を超えています。日々100人台、多い時は200人台の感染者が出ています。お子さんから親への家庭内感染というケースが多いこともあり、忙しく予定を立てにくい働き盛りの世代の方々にもご検討いただければと思います。

以上、本日の説明でございます。

質疑応答の概要

■「スタートアッププログラム2021」受賞者を支援します！

～男性職員の育児休業の取得を進めます～

(記者)「支援」とは、どういったことをするのですか？

(市長) シンポジウムの講師としてお招きし活動の場を提供することです。講師への講演料も、お支払いします

■あいち2022一宮会場を盛り上げる企画を募集します！

(記者)「一宮会場実行委員会」の構成とその中に市職員は入っていますか？

(担当) 会長は、活力創造部長で実務担当に市職員が入っています。加えて一宮商工会議所、一宮市芸術文化協会、市民活動支援センター他といった構成です。

(市長) 奈良美智さんの作品がオリナス一宮で展示予定されるなど、ビッグネームも挙がっていますが、市民の皆さまや民間団体の方たちによる草の根の盛り上がりにも、期待しています。

(記者) 地元作家の方が期間中に開催すれば、助成の対象となるのですか？

(市長) はい、そうです。審査がありますので、応募された方のなかで競争ということになります。我こそはという方から名乗りをあげていただけることを期待しています。

■ウルフドッグス名古屋の選手が市役所で実習します

(記者) 実習の受け入れについて、ウルフドッグス名古屋側から打診されたのですか？

(市長) はい、そうです。6～7月のリーグ戦オフシーズン中の短期間となりますが、我々もアスリートの方からよい刺激を受けられればと考えています。

(記者) 一宮市が現役のスポーツ選手を受け入れるのは初めてですか？

(市長) はい、そうです。民間企業から受け入れでは、地方創生に関する包括連携協定を締結した東京海上日動火災保険㈱様から、令和2年度に1名を受け入れた実績があります。

(記者) 地方創生については、政権が変わっても前向きに取り組んでみえるのですか？
(市長) 我々が掲げた課題は、少子化対策です。特に、総合戦略を策定した当時から取り組んでいるのは、子育てをする環境を整えることです。これは、国の支援の有無に関わらず取り組むべき課題だと考えていますので、継続して取り組んでいると思っています。

■ ワクチン接種特設会場（3回目接種）で「予約なし接種」を実施します

(記者) 現在、市内のクリニックで使用しているワクチンは全てモデルナ社製ですか？
(市長) ファイザー社製とモデルナ社製の両方です。
(記者) 接種希望者がファイザー社製のワクチンを希望する傾向はありますか？
(市長) 一宮市立市民病院では、ファイザー社製の予約が早く埋まり、モデルナ社製に空きが出る状況です。モデルナ社製については、先々週の例では用意した数の半分程度しか埋まりませんでした。
(記者) 若年層が感染した後、その家庭内で拡大するといった傾向があるのでしょうか？
(市長) はい、あります。10歳未満や10～20歳代の感染者数が多く、その家庭内で拡大する傾向があります。現状の感染者数は、30～40歳代は少数で高齢者層はほぼありません。医療に対する負荷も発生せず、病床使用率は2割程度にとどまっています。しかし、感染者数が下がりきらないままであれば、大型連休後に増加する可能性もありますので、皆さまに早めに接種していただけるよう取り組んでまいります。
(記者) 他の中核市と比較して、一宮市の3回目接種は進んでいますか？
(市長) 65歳以上の方ですと、県平均とほぼ同じ88%ほどです。30～50歳代では県平均より若干少ない53%です。
(記者) 減少傾向にある県内他市と比較すると、一宮市の感染者数まだ多いように感じますが、何か特性があるのでしょうか？
(市長) 一宮市の場合は、県内の動向から後れて現れる傾向があります。
(記者) 小児の接種率はどの程度ですか？
(市長) 5～11歳までの小児については、1回目接種が7.3%で1割に到達していません。

■ ウクライナへの支援について

(記者) ウクライナへの支援について、実施するお考えはありますか？
(市長) 現時点で支援の要望を確認していませんので、一宮市として打ち出していません。